CHIGASAKI CITY COUNCIL PUBLICITY PAPERS NO.238 2026 AUTUMN

ちがさき 市議会だより

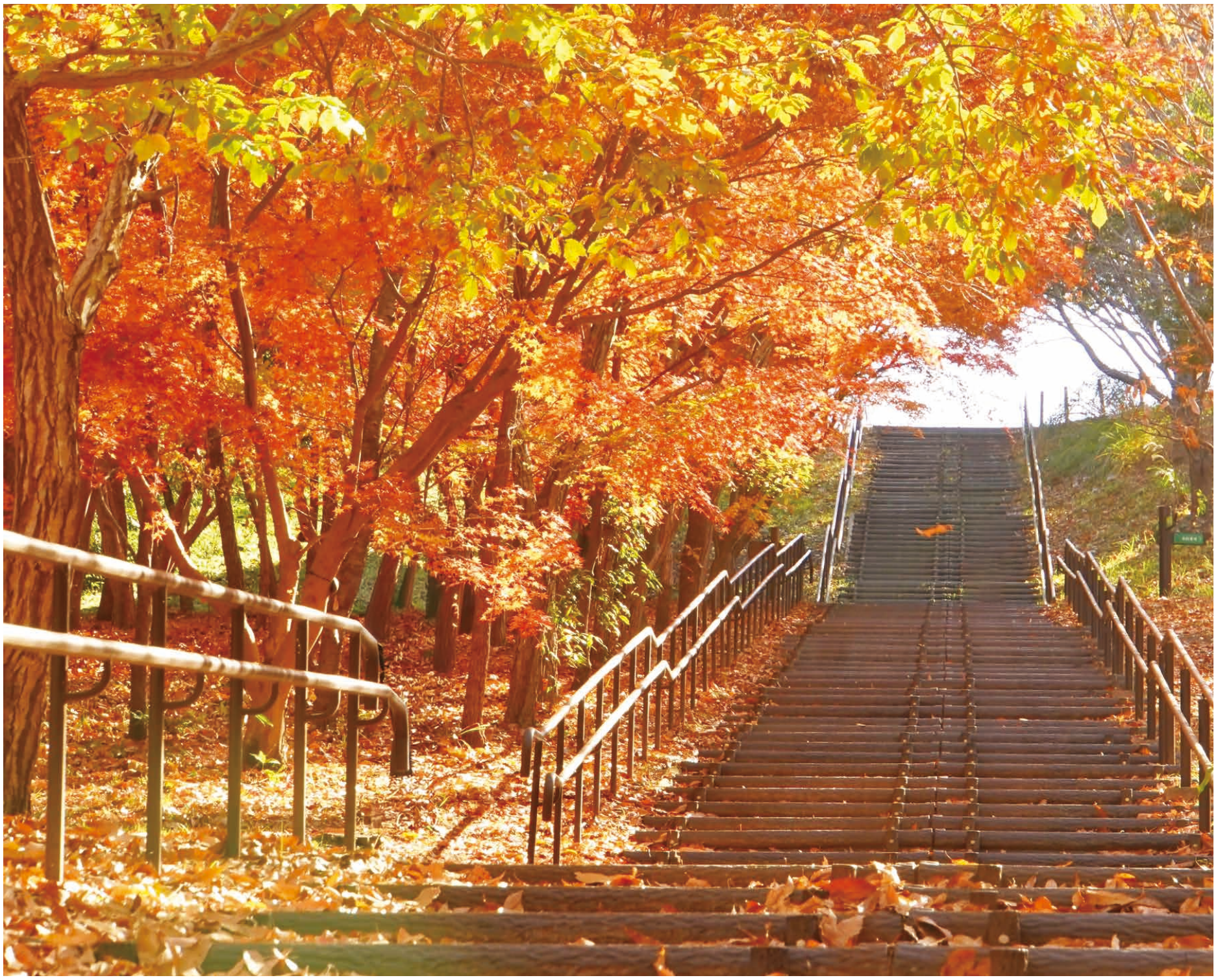
238号
2026. 10. 31

議会だよりへのご意見 募集中

■一般質問 …… 2～3面
■各常任委員会の審査内容 …… 4～5面
■各議案等に対する討論 …… 4～5面
■議案等の議決結果等 …… 6面
■議会の情報 …… 3・6面
■特集記事（令和7年度決算） …… 7～8面

令和8（2026）年10月31日発行／茅ヶ崎市議会　編集／広報広聴委員会
ホームページアドレス　https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/gikai/
議会事務局　電話0467(81)7211　FAX 0467(82)1060

資源保護のため、再生紙を使用しています



県立茅ケ崎里山公園

一般質問とは

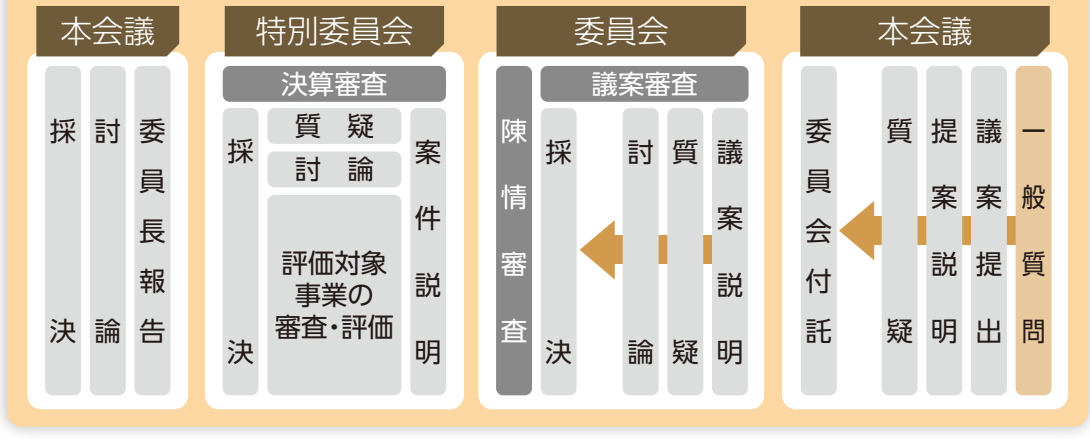
議員が市政全般について、その執行状況や方針等を、市長および他の執行機関に対して質問することをいいます。

市長 ← 市が行う仕事について幅広く質問する ― 議員
市長 → 市の取り組み状況や考え方を答える → 議員



今期定例会では **15人** の議員が質問

第3回定例会の主な流れ



一般質問は次のページから



滝口友美

子どもの居場所について

質問　夏季休業期間と通年の子どもの居場所について、市の対応は。

回答　夏季休業期間中は、サマースクールや定員に対する希望者数が上回っている学区を中心に夏季臨時保育を実施した。通年では、他学区への送迎支援などを実施し、柔軟に対応している。

質問　既存制度を生かした一体型子どもの居場所事業における取り組みは。

回答　既存の施設や地域内の資源を有効に連携・活用し、国・県の動向や他自治体の先進事例等を参考にしつつ、地域の実情等を鑑み、多角的に検討していく。

その他の主な質問事項

「耳で聴くハザードマップ」の導入について



安心の居場所



水本定弘

VUCA時代に求められる教育と人材について

質問　教員不足の対応について問う。

回答　VUCA時代と言われる先行き不透明な社会を生き抜く子どもたちに、学校教育が果たすべき役割は極めて高い。全国的に教員不足や採用試験の倍率低下といった危機的な現状を踏まえ、安定的な教員の確保や資質の向上は深刻かつ喫緊の課題であると捉えている。これらの課題に対して、迅速かつ実効性のある多様な人材確保の取り組みを推進しているところである。

その他の主な質問事項

屋外の公共施設における暑さ対策について



授業風景



阿部英光

障がいのある人と家族が必要な支援につながるために

質問　計画相談支援の役割は、生活を継続的に捉え変化に応じ必要な支援につなぐケアマネジメント[※1]にある。セルフプラン利用者にも継続的な相談支援体制を構築すべきだが、市の見解は。

回答　相談支援体制の根本的な見直しの検討を進めている。今後、希望者が計画相談を利用できる体制づくりや、委託事業所との連携により、セルフプラン利用者へ継続的なケアマネジメントを提供する体制構築に努めていく。

その他の主な質問事項

車がなくても市内外へ安心して移動できる公共交通について



全ての人にケアマネジメントが必要



菊池雅介

災害時における避難環境の向上について

質問　マンホールトイレや生活用水などの関連工事が施工できる市内事業者との連携について問う。

回答　マンホールトイレや生活用水の確保は、避難者、特に高齢者や要配慮者の生活環境を維持し、災害関連死を防止する上でも重要であると認識している。施設整備に当たり、災害時に迅速な施工や復旧に対応できる、市内事業者の技術力や担い手を確保することも重要である。今後も、市内事業者との連携を図り、地域防災力の向上と市民の安全・安心の確保に努める。



井戸水を活用した水洗式マンホールトイレ



岡崎　進

子どもの安全・安心について

質問　待機児童ゼロの一方で保留児童[※2]が存在し、保育士不足を理由に受け入れ抑制が発生している現状認識と対策を問う。

回答　施設整備による受け皿確保および保育士確保の両輪で対策を進めているが、特に保育士確保に注力し、保留児童のさらなる減少につなげていく。

質問　保育士の市外流出防止に向けた独自の給与改善や、保育園負担の軽減に向けた経済的支援について問う。

回答　人件費の負担の大きさは把握している。既存補助金の活用を促しつつ、他市動向等を踏まえて補助内容等の見直しを進める。



市で実施する保育士確保の取り組み



今井理華

市民の市政への参加について

質問　市民参加の推進における課題は。

回答　参加機会の情報が市民に十分に届いていないことが課題である。今後は、テーマに応じて対象を定めた情報発信等を行い、市民参加の推進を図っていく。

質問　市民からの意見などへの対応状況を、市ホームページで見つけやすくするための改善策は。

回答　苦情や意見等を、苦情対応報告書として公表しているが、市民が関心のある分野を探しにくい側面がある。今後は、他市の取り組みを参考にしながら、市民にとって見やすい表記方法を検討していく。



よく聴き合う間柄に



山口順平

茅ヶ崎海岸グランドプランC地区の公園整備について

質問　C地区公園整備の今後のスケジュールと周辺エリアとの連携は。

回答　令和8年度中に公園基本計画を取りまとめ、民間活力を活用する場合は、令和10年度中の公募を目指す。サザンビーチや漁港などの周辺施設と連携し、人の動線や景観に調和した環境づくりを進めるとともに、各地区の機能を有機的に結び付け、海岸エリア全体の魅力や回遊性、にぎわいを創出していく。

その他の主な質問事項

高齢単身世帯の増加を見据えた終活支援と本人の尊厳を守る取り組みについて



茅ヶ崎海岸グランドプランC地区周辺の様子



藤村優佳理

市民の声を予算と実行につなげる市政運営の在り方について

質問　今後の財政運営において、何を大切にし、どのような方向性を目指していくのかを問う。

回答　自治体は将来にわたり市民生活を支え、必要な行政サービスを安定して提供し続けることが求められる。財政の健全性の確保は、市民の暮らしを支える基盤である。将来世代に過度な負担を残さぬよう、財政規律を堅持しながら将来に向けた必要な施策に財源を振り分け、部局の垣根を越えて知恵と力を結集し、全庁一丸となり「元気で活力ある茅ヶ崎」を目指していく。



未来へ希望を持てるまちへ



柾木太郎

令和9年度予算編成と教員確保対策について

質問　市民の暮らしを守り、魅力あふれる茅ヶ崎を次世代につなぎとめるための市長の覚悟と施策展開への決意は。

回答　誰もが安心して暮らし、自分らしく活躍できる元気で活力のあるまちであり続ける茅ヶ崎を実現するため、私自身がリーダーシップを発揮し、必要な予算をしっかりと計上していく。

質問　学校現場の構造的課題や要因把握と、今後の改革について問う。

回答　現場の閉塞感など学校内外からの懸念は、深く受け止めている。教職員が委縮せず新たな教育に挑戦できるよう、教育環境の実現に向けて取り組む。



あれもこれも大忙し！



長谷川由美

文化・スポーツの振興へ心地よい環境を

質問　令和9年秋頃開設予定の（仮称）フラットパークと文化会館にフリーWi-Fiの整備を行い、振興拠点一帯として総合的な価値を高めることについて問う。

回答　同パークの設置に伴い、総合体育館や市民文化会館への若者世代の来館増加が想定される。各施設の利用者の声を聞き、フリーWi-Fi設置の検討を進めていく。

質問　同パークへの防犯カメラの設置と安全確保について問う。

回答　防犯カメラの設置を予定しており、関係課や各施設の指定管理者と連携し、管理体制を整えていく。



文化スポーツの新拠点に

※1　セルフプラン…障害福祉サービスや障害児支援を利用する際、専門の相談支援専門員に頼らず、本人や家族等で作成するサービス等利用計画や障害児支援利用計画
※2　保留児童…保育所等の利用申込をしたにも関わらず、定員超過等の理由で利用ができなかった児童

2次元コードから実際の映像をご確認いただけます。


木山耕治

資材置き場等への土地利用転換について

質問　北部で増える農地等の資材置き場等への転換事例の実態と対応を問う。

回答　市街化調整区域312カ所に対し、約半数が資材置き場として利用されていることを現地調査で確認し、危険が想定される箇所は所有者等へ個別指導等を行い、是正等の成果が出ている。また、通学路等の交通安全上のリスクは、調査結果に情報を反映した上で、関係部局と共有を図り指導に努める。

その他の主な質問事項

自転車の交通安全対策について

市内経済対策について



不法投棄を見逃さないまちへ


金田俊信

茅ヶ崎市地域公共交通計画について

質問　コミュニティバスの役割と将来像について問う。

回答　路線バスの利用が不便な地域の移動を支える役割を維持し、市民の主な移動ニーズである茅ケ崎駅への運行頻度の改善など、さらなる利便性の強化を図るため、検討を進めていく。

質問　実現していないコミュニティバスの計画路線に係る今後の位置づけを問う。

回答　当初計画において、当時の地域特性や移動需要などを踏まえて決定したものであり、現時点で運行を目指しているものではない。


市民の足、守り育てる


藤本恵祐

令和8年熊本地震を踏まえた本市の震災対策について

質問　大規模震災発生時における在宅避難者の把握・支援策強化について問う。

回答　在宅避難者の把握については、自主防災組織による安否確認や個別訪問、ローラー調査等の方法が想定される。県が主導で避難状況や支援ニーズの把握を効率化するシステム構築を進めており、令和8年度は、本市もその実証実験に参加し、被災地で生じている課題等を検証に取り入れていく。

その他の主な質問事項

小・中学校における児童・生徒の安全確保について

特別自治市制度の法制化について


在宅避難者用の飲料水


清野匡志

ごみ減量化とゼロカーボンシティへの取り組みについて

質問　プラスチック製容器包装類と製品プラスチックの分別について、市民への周知方法を問う。

回答　プラスチック製容器包装類と製品プラスチックの違いなどを分かりやすく記載した周知用のチラシを、令和8年12月頃に市内全戸に配布する。また、市ホームページなどでの案内とともに、環境指導員会議や自治会の環境学習会を活用して説明を行うなど、令和9年4月に開始する分別収集に向けて準備を進めていく。


誰にでも分かりやすい周知を


杉本啓子

新しくなった避難所開設・運営マニュアルについて

質問　令和8年8月に新しい避難所開設・運営マニュアルが公開されたが、どのように使いやすく変わったのか。

回答　冊子を持ち歩かずに活動シートのみで作業ができるよう、活動場面や対策ごとに1枚のシートにまとめ、写真やイラストを多く取り入れ、避難所の運営・開設が初めての人でも分かるよう工夫して作成した。また、災害初動時の対応を重視し、施設の安全確認やトイレの使用禁止措置および土足禁止など、避難所開設時に、最優先で取り組むべき重要事項を冒頭に分かりやすく示した。

避難所運営マニュアル

市議会のSNS

facebook

市議会の公式会議の情報や議長の動向、委員会等の視察の様子などを配信しています。

YouTube

市議会の取り組みや議会報告などを動画で配信しています。
ぜひチャンネル登録をお願いします。

会議録

議案審査等を行った会議の会議録を公開しています。会議名や日付、発言内容などで検索もできます。

会議映像

過去１年間の議案審査等を行った会議の映像を公開しています。当日の映像をぜひご覧ください。

点字版と録音版の「議会だより」の発行

目の不自由な方にも、議会の活動を知っていただくため、点字版と録音版（茅ヶ崎録音奉仕会のご協力で作成）の「議会だより」を発行しています。
利用を希望される方は議会事務局までお問い合わせください。

「ちがさき市議会だより」は、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは会議録をご覧ください。

○令和８年第３回定例会の本会議・委員会の状況については、市ホームページで録画映像をご覧いただけます。
○令和８年第３回定例会の会議録は、11月下旬から市ホームページ、市立図書館、市役所の市政情報コーナーなどでご覧いただけます。

＼茅ヶ崎の未来について話そう／

オンライン意見交換会を開催





令和８年７月22日(水)に広報広聴委員会委員７名と赤羽根中学校の生徒会本部役員３名でオンライン意見交換会を開催しました。
意見交換会では、「茅ヶ崎がこんなまちになったらいいな」といった真っ直ぐな思いや学校生活に関することなど、等身大の中学生の言葉を聴くことができました。



総務常任委員会

令和８年第３回定例会では、議案７件を審査しました。主な案件について報告します。

委員長　藤村優佳理
副委員長　滝口　友美
金田　俊信
岸　正明
水島　誠司
柾木　太郎

暗号資産の税制見直しなど市税条例を改正

議案第107号　茅ヶ崎市市税条例の一部を改正する条例

委員会では賛成多数

可決

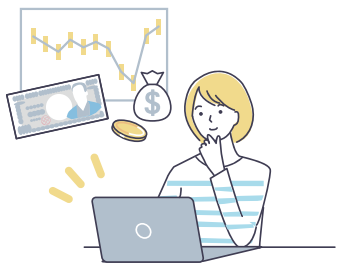
議案の概要

地方税法の改正に伴い、家屋および償却資産に係る固定資産税の免税点を改めるとともに、個人の市民税に係る住宅借入金等特別税額控除の適用期限を延長する等のためのものです。

主な質疑

問　暗号資産の税率変更についての詳細は。

答　これまで暗号資産の売買による利益は総合課税の雑所得として扱われ、所得税と住民税等を合わせて最大約55％の税負担となるケースがあった。今回の法改正により、暗号資産を株式等と同じ税率の約20％とすることで、投資しやすい環境を整備し、安定的な資産形成を支援するものである。



問　優良住宅地の造成等のための譲渡から除外される災害リスクの高い区域について、市内の該当箇所は。

答　市内では土砂災害特別警戒区域が56カ所該当するが、大半は市街化調整区域かつ傾斜地であり、造成等の可能性は低い区域と考えている。

救急車に高度救命処置用資機材

議案第113号　動産の取得について

委員会では全会一致

可決

議案の概要

高度救命処置用資機材の取得をするためのものです。

主な質疑

問　高度救命処置用資機材は救急車何台分か。

答　2台分である。

問　資機材は自治体ごとの消防の規模や病院との連動性により異なるが、見積もりが適正か、どのような方法で確認したのか。

答　本市と契約実績のある事業者の見積もりに加え、製造メーカーの資料等による価格比較、他自治体の結果も分析しながら算定した。

問　機器のメーカー選定や1社への発注について、これまでの実績や信頼性、発注の効率性などを踏まえ、どのような考え方で行ったのか。

答　高い専門性を持つ医療機器で、一般の流通品とは異なるため、複数の客観的な情報を確認した上で価格の妥当性等を検証した。



救急車に積載される高度救命処置用資機材

都市経済常任委員会

令和８年第３回定例会では、議案12件を審査しました。主な案件について報告します。

委員長　水本　定弘
副委員長　花田　慎
杉本　啓子
藤本　恵祐
菊池　雅介
加藤　大嗣

農具や肥料等の高騰に農業支援

議案第102号　令和８年度茅ヶ崎市一般会計補正予算(第４号)所管部分

委員会では全会一致

可決

主な事業費

物価高騰対応重点支援事業費（9866万円）

6000円増。国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、種苗費、農具費、農薬衛生費、諸材料費等の価格の高騰の影響を受けている農業を営む者に向けた支援を行うことに伴い、負担金補助および交付金を増額するもの）

主な質疑

問　補助内容は。

答　国庫補助金を活用し、種苗費や農具費、農薬衛生費、諸材料費を支援するものである。

問　対象者および申請方法は。

答　個人・法人問わず申請可能である。JAによる回覧や生産者向け配信メール、補助金等の申請者等に対する通知により、令和８年12月末までの支給を目指し事業を進めていく。



資材高騰の影響を受ける農家を支援

商品券と物流支援を拡充

議案第102号　令和８年度茅ヶ崎市一般会計補正予算(第４号)所管部分

委員会では全会一致

可決

主な事業費

物価高騰対応重点支援事業費（3130万円増。国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、商店街の活性化等を図るため、商店会等が実施するプレミアム商品券事業に対する支援および地域経済を支える物流機能の維持を図るため、中小貨物運送事業者に対する支援を行うことに伴い、負担金補助および交付金を増額するもの）

主な質疑

問　商品券事業の補助率および上限は。

答　補助率は10分の10とし、1団体で実施する場合は230万円、複数団体が合同で実施する場合は2200万円を補助上限額とする。

問　運送事業者への支援内容は。

答　支援金額は一般貨物・特定貨物自動車運送事業者に対し、1事業者当たり20万円、貨物軽自動車運送事業者に対し1事業者当たり2万円を支援するものである。

問　事業者等への周知方法は。

答　商店会等への支援は市ホームページへの掲載や商店会へのメール配信等で周知し、運送事業者への支援は市ホームページへの掲載や関係団体を通じて周知を行うことで、制度内容や申請方法等を確実にお知らせしていく。

討　論

こんな理由で

賛成 OR **反対**

第３回定例会に提出された各案件について、採決の前に各会派などが態度を表明し、その理由を述べました。

賛成　公明ちがさき

認定第１号～認定第７号

令和７年度は、茅ヶ崎市実施計画2025の集大成の年として持続可能なまちづくりを推進する予算執行が進められた。市税収入は、前年度比で7.6%増加したが、今後も厳しい財政状況が見込まれ国・県補助金の的確な活用等による安定性の確保が大切である。障がい者支援では、セルフプランの支援体制が強化されたが、事業所等の慢性的な不足により「望まないセルフプラン」という状況も起きている。事業者へのバックアップや相談支援センター等を活用した丁寧な相談や助言の強化を望む。

賛成　ちがさき自民クラブ

認定第１号　令和７年度茅ヶ崎市一般会計歳入歳出決算の認定について

道の駅開業や小・中学校等の体育館空調整備、中学校給食の全校開始等事業計画どおりの実施を評価する。また、市税収入の増加や斎場の残骨灰売却、ペットボトルのボトルｔｏボトル等による有価物の売却等を新たな増収源とする地域経済の活性化への取り組みを評価する。「攻めの行政運営」として定住人口やまちの魅力向上などの成果を評価する一方、※3自治体情報システムの標準化移行に係る費用に関して国への継続的な財政支援の要望を強く求める。

賛成　絆・新政・新しい風

認定第１号～認定第７号

実質収支が約61億円の黒字となり、予算はおおむね適正に執行されたと判断する。市債発行額は高水準であり、将来世代に過度な負担を残さない運用と新たな自主財源の確保を求める。また、経常収支比率は98.4％に上昇し、財政の弾力性が失われつつある。子ども・子育て支援では待機児童ゼロを達成したが、保留児童307人を含めた受入れ体制の検証と改善を求める。病院事業では重点目標の２年連続達成等成果につなげている点を評価するが、令和９年度の黒字化に向けたさらなる経営改善を求める。茅ヶ崎市実施計画2030においては、市民生活への効果や公平性等を踏まえ、真に必要な事業を生かすよう要望する。

※３　自治体情報システムの標準化…地方自治体が個別に構築・運用してきた基幹業務システムを、国が定める統一の標準仕様（標準準拠システム）へと移行し、デジタル庁が整備する「ガバメントクラウド」上で共通利用する取り組み

認定第１号～**認定第７号**　令和７年度茅ヶ崎市一般会計歳入歳出決算の認定について／令和７年度茅ヶ崎市病院事業会計決算の認定について

２次元コードから実際の映像等をご確認いただけます。

文化教育常任委員会

令和8年第3回定例会では、議案4件と陳情2件を審査しました。主な案件について報告します。

委員長　木山　耕治
副委員長　金子　遥
山口　順平
吉川ひかり
山崎　広子
長谷川由美
伊藤　素明

屋内温水プールの外壁等を修繕

議案第102号　令和８年度茅ヶ崎市一般会計補正予算(第４号)所管部分

委員会では全会一致

可決

主な事業費

温水プール管理運営経費（657万円増。屋内温水プールにおける外壁および歩道タイル修繕、機械室動力盤内インバーター交換および更衣室プール出口防火シャッター危害防止装置の修繕を行うことに伴い、修繕料を増額するもの）

主な質疑

問　**修繕に要する期間は。**

答　西側の外壁と歩道タイルの修繕については約1カ月、インバーターと防火シャッターの修繕については、各1日程度を予定している。

問　**利用者に対する配慮や告知は。**

答　西側の外壁については、駐車場から建物に入る動線を確保し、利用者が安全に通行できるよう駐車場等に表示を行い配慮する。また、工事について市ホームページ等で周知するほか、インバーターと防火シャッターの修繕については、休館日に行う予定である。



修繕予定の屋内温水プール外観

母子家庭父子家庭高等職業訓練促進給付金等の予算額を増額

議案第103号　令和８年度茅ヶ崎市一般会計補正予算(第５号)所管部分

委員会では全会一致

可決

主な事業費

母子家庭父子家庭高等職業訓練促進給付金等事業費（815万4000円増。母子家庭父子家庭高等職業訓練促進給付金等の支給について、当初の想定を上回る申請者の増加に伴い、扶助費を増額するもの）

主な質疑

問　**利用者の対象資格の内訳は。**

答　令和8年度は、看護師5名、保育士2名、介護士1名、その他4名である。

問　**受講終了後の就業実績や経済的自立などの状況は。**

答　令和7年度は、17名のうち、4名については正社員や契約社員等の雇用形態が変わったことに伴い、給料が昇給したことを確認している。資格の取得を目指して養成機関で修業し、就労に有利な条件の環境を整えることで、ひとり親家庭の自立を促進し、安定的な生活基盤につながる成果を生み出していると認識している。

問　**補正額の算出根拠は。**

答　現時点での事前相談5件と令和5年から令和7年までの過去3年間における下半期の平均受講開始件数の4件を合算し、9件の新規受講を見込んでいる。

環境厚生常任委員会

令和8年第3回定例会では、議案4件と陳情1件を審査しました。主な案件について報告します。

委員長　阿部　英光
副委員長　岡崎　進
今井　理華
早川　仁美
清野　匡志
新倉　真二

認知症あんしんガイドを改訂

議案第103号　令和８年度茅ヶ崎市一般会計補正予算(第５号)所管部分

委員会では全会一致

可決

主な事業費

高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業費（190万6000円増。国庫補助金を活用し、認知症あんしんガイドの改訂およびチームオレンジ[※4]の地域活動への定着を目的とした研修会等を実施することに伴い、報償費、消耗品費、通信運搬費、委託料を増額するもの）

主な質疑

問　**認知症あんしんガイドにおける改訂の内容は。**

答　認知症に関する市民アンケートの結果、認知症あんしんガイドの認知度が低く、活用も十分に進んでいないことが明らかになった。より多くの方がガイドを活用できるよう、見やすく、手に取ってもらえるような構成と内容に改定する。

問　**研修会の実施予定回数は。**

答　チームオレンジを対象として、スキルアップやモチベーションの維持等を目的に、1回の実施を予定している。



認知症あんしんガイド（改訂前）

介護保険運営基金積立金を増額

議案第106号　令和８年度茅ヶ崎市介護保険事業特別会計補正予算(第１号)

委員会では全会一致

可決

主な事業費

介護保険運営基金積立金（5億1508万9000円増。保険給付等の財源として収入した介護保険料のうち、保険給付等への充当がなされなかったもの等について介護保険運営基金に積み立てるため、積立金を増額するもの）

主な質疑

問　**積立額が令和6年度分に比べて5000万円増額した理由は。**

答　主な要因として、国庫支出金のうち調整交付金が約6000万円増額となったことが挙げられる。この増額は、交付率が3・86%から4・16%へ上昇したことに伴うもので、増収分を保険給付費へ充当した結果、余剰となった介護保険料を基金に積み立てることができた。

委員会の活動

本委員会では、政策討議のテーマを「支え合いの地域づくりについて～誰ひとり取り残さない地域社会の構築～」として、7月2日にまつなみボランティアセンター、地域包括支援センターあいへ、同月3日に地域包括支援センターみどり、つるみね西ボランティアセンターへ行政視察を行いました。引き続き、調査研究を行います。

賛成　会派に属さない議員

認定第１号　令和７年度茅ヶ崎市一般会計歳入歳出決算の認定について

限られた市の財源をどこに配分するか、市債をどうコントロールするかなどについて、市民への説明責任をしっかりと果たしながら市政運営を進めることを求める。　（杉本啓子議員）

反対　日本共産党茅ヶ崎市議会議員団

議案第107号　茅ヶ崎市市税条例の一部を改正する条例

本改正は納税者である市民の負担を軽減するものだが、特定暗号資産の取引には社会的に適切な規制を図るべきであり、取引で得た利益を分離課税として税率を３％と極端に低くすることは容認できない。

賛成　未来創生・湘風クラブ

認定第１号　令和７年度茅ヶ崎市一般会計歳入歳出決算の認定について

物価高騰等の状況下で、国・県の補助金を活用し公約を達成するとともに、義務的経費等を堅実に運用した点を評価する。令和９年度予算編成は、投資的要因の変化等を踏まえ柔軟かつ慎重な対応を求める。

賛成　ちがさき立憲クラブ

認定第１号～認定第７号

物価高騰等による厳しい財政運営の中、保育園等既存施設の活用や受け入れ拡充、自然災害対策に伴う河川の拡幅など茅ヶ崎市実施計画2025に関する事業の積極的な推進を評価する。今後も市民の多様な需要を的確に捉え、持続可能な財政運営を求める。

賛成　市民の声ちがさき

認定第１号　令和７年度茅ヶ崎市一般会計歳入歳出決算の認定について

令和７年度は「攻めの行政運営」を進める中、必要な事業を支える財源確保にも取り組んだ。国・県補助金の活用や交付税措置のある市債の活用など将来負担にも配慮しつつ財源確保に努めてきたことを評価する。財源の確保は、市民の暮らしや茅ヶ崎の未来につなげていくための土台作りとも言える。今後も財政規律を守りながら、必要なところにしっかりと投資し、市民がこれからの茅ヶ崎に希望を持てる市政運営につなげていくことを要望する。

※4　チームオレンジ…認知症サポーターが中心となって認知症の人や家族を地域で支える取り組み

議案等の議決結果等（令和８年第３回定例会）

議案番号	件　名	議決結果 本会議審議日		絆・新政・新しい風 長谷川由美	岸 正明	絆・新政・新しい風 加藤 大嗣	絆・新政・新しい風 新倉 真二	絆・新政・新しい風 木山 耕治	ちがさき自民クラブ 岡崎 進	ちがさき自民クラブ 水本 定弘	ちがさき自民クラブ 水島 誠司	ちがさき自民クラブ 金子 遥	公明ちがさき 菊池 雅介	公明ちがさき 阿部 英光	公明ちがさき 滝口 友美	公明ちがさき 山崎 広子	市民の声ちがさき 花田 慎	市民の声ちがさき 藤村優佳理	市民の声ちがさき 清野 匡志	市民の声ちがさき 山口 順平	ちがさき立憲クラブ 吉川ひかり	ちがさき立憲クラブ 早川 仁美	未来創生・湘風クラブ 柾木 太郎	未来創生・湘風クラブ 伊藤 素明	日本共産党茅ヶ崎市議会議員団 金田 俊信	日本共産党茅ヶ崎市議会議員団 今井 理華	会派に属さない議員 杉本 啓子	会派に属さない議員 藤本 恵祐
議案第102号	令和８年度茅ヶ崎市一般会計補正予算（第４号）	9月1日	可決	○	議長のため表決に加わらず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号	令和８年度茅ヶ崎市一般会計補正予算（第５号）	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第104号	令和８年度茅ヶ崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号	令和８年度茅ヶ崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号	令和８年度茅ヶ崎市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号	茅ヶ崎市市税条例の一部を改正する条例	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第108号	茅ヶ崎市立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第109号	茅ヶ崎市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号	茅ヶ崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第111号	茅ヶ崎市景観条例の一部を改正する条例	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第112号	茅ヶ崎市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第113号	動産の取得について	9月1日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第114号	令和７年度茅ヶ崎市公共下水道事業会計利益の処分について	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第115号	和解について	9月1日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第116号	市道路線の廃止について	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第117号の1～7	市道路線の認定について	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第118号	公平委員会委員の選任について	9月29日	同意	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	欠席	○	○	○	○
議会議案第10号	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書	9月30日	可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○
認定第1号	令和７年度茅ヶ崎市一般会計歳入歳出決算の認定について	9月30日	認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
認定第2号	令和７年度茅ヶ崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月30日	認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
認定第3号	令和７年度茅ヶ崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月30日	認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
認定第4号	令和７年度茅ヶ崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月30日	認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
認定第5号	令和７年度茅ヶ崎市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月30日	認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	令和７年度茅ヶ崎市公共下水道事業会計決算の認定について	9月30日	認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	令和７年度茅ヶ崎市病院事業会計決算の認定について	9月30日	認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の候補者の推薦について	9月3日	異議なし	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成　●反対

陳情の審査結果

会議の区分		件　名	結　果	絆・新政・新しい風	ちがさき自民クラブ	公明ちがさき	市民の声ちがさき	ちがさき立憲クラブ	未来創生・湘風クラブ	日本共産党茅ヶ崎市議会議員団	杉本啓子	藤本恵祐
環境厚生常任委員会	陳情第12号	国に対し、OTC類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書提出の陳情	不採択	●	●	△	●	○	－	○	－	－
文化教育常任委員会	陳情第13号	保育所等利用調整における安全上の事情への配慮及び制度運用の明確化を求める陳情	不採択	●△	●	●	○	●	●	－	－	－
	陳情第14号	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書を国に提出することを求める陳情書	採択	○△	○	○	●	○	●	－	－	－

○賛成　●反対　△委員長のため表決に加わらず　－所属委員なし

意見書

意見書を可決しました	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書

令和８年第４回定例会の日程（予定）

月	日(曜日)	内　容
11	27(金)	本会議(＊先議案件趣旨説明～質疑～付託／一般質問) ／＊先議案件委員会審査
	30(月)	本会議(＊先議案件最終審議／一般質問)
12	1(火)	本会議(一般質問)
	2(水)	＊本会議(一般質問)
	3(木)	＊本会議(一般質問)
	4(金)	本会議(＊一般質問／▲各案件趣旨説明～質疑～付託／▲＊報告)
	7(月)	都市経済常任委員会
	8(火)	文化教育常任委員会
	9(水)	環境厚生常任委員会／＊議会運営委員会
	10(木)	総務常任委員会
	17(木)	＊議会運営委員会／＊本会議(追加案件趣旨説明～質疑～付託) ／＊追加案件委員会審査
	18(金)	本会議(各案件最終審議／＊報告に対する質疑) ／議会運営委員会

(1)＊印のある場合は、案件がある場合に行われます。　○原則として午前10時から
(2)一般質問実施人数及び追加案件の有無によって12月２日(水)、３日(木)、４日(金)および17日(木)は休会になります。
　また、▲印のある場合は前日程に繰り上げて実施します。
(3)詳細は、11月20日(金)開催予定の議会運営委員会で決定されますので議会事務局にお問い合わせください。
(4)請願と陳情の第４回定例会での取り扱いは、11月10日(火)正午までに提出されたものを対象とします。

全員協議会の開催状況

月	日(曜日)	内　容	
9	3（木）	【協議事項】	人権擁護委員の候補者の推薦について
	25（金）	【協議事項】	鶴が台小学校プール敷地を利活用した香川保育園再編整備について
	29（火）	【協議事項】	公平委員会委員の選任について

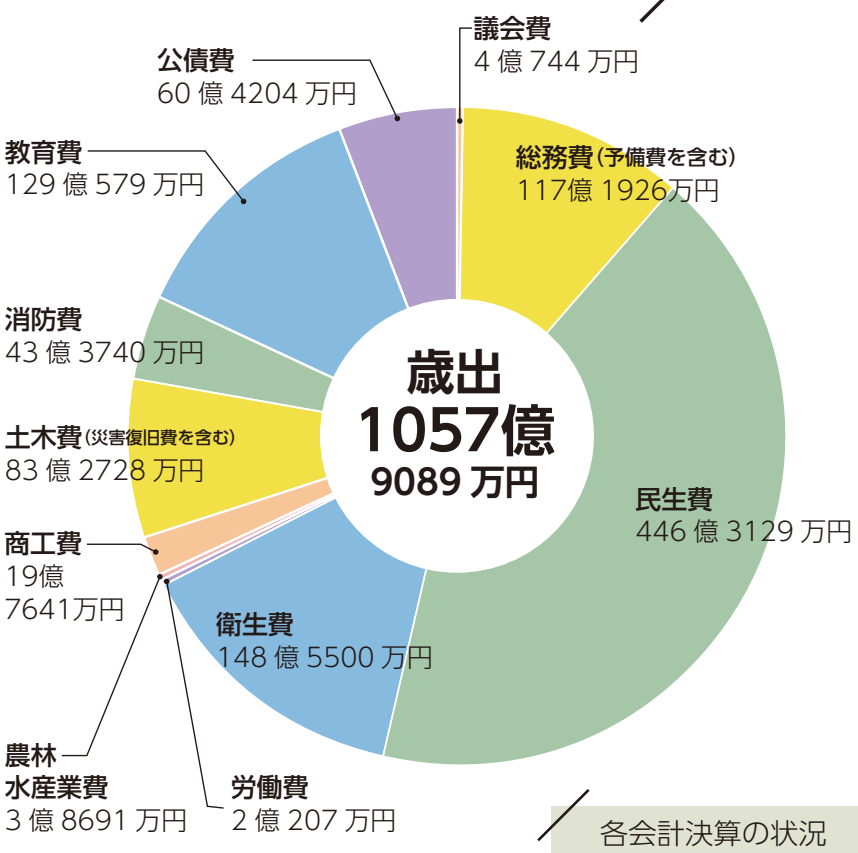
議会の動向

7月	15日	鳥取県鳥取市議会議員11名が視察来庁
		広報広聴委員会
	20日	茅ヶ崎海岸浜降祭に愛知県岡崎市議会副議長、長野県佐久市議会副議長を招待し、来訪
	21日	茨城県牛久市議会議員10名が視察来庁
8月	6日	長野県佐久市議会議員８名が視察来庁
	10日	議会運営委員会
	24日	議会運営委員会
9月	28日	広報広聴委員会
	30日	議会運営委員会
10月	6日	広報広聴委員会
	13日	ＩＣＴ活用推進協議会

※議長の動向については、ホームページに掲載しています。「茅ヶ崎市　議長の動向」で検索できます。

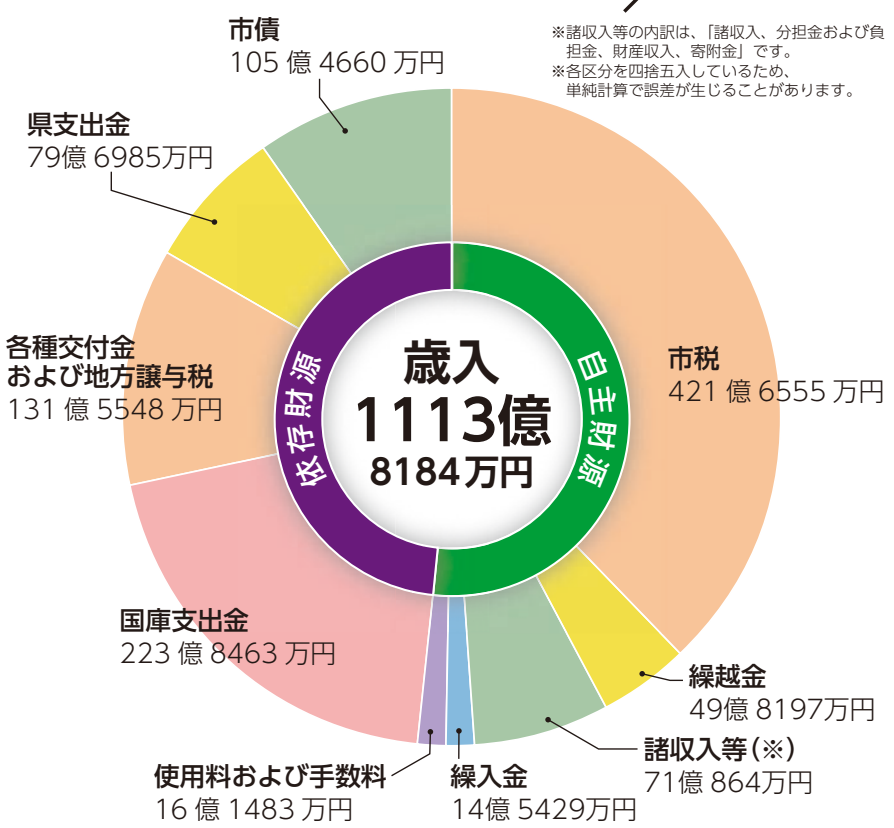
令和７年度　決算の概要

一般会計歳出内訳



一般会計歳入内訳

※諸収入等の内訳は、「諸収入、分担金および負担金、財産収入、寄附金」です。
※各区分を四捨五入しているため、単純計算で誤差が生じることがあります。



各会計決算の状況

区分会計別			歳入決算額	歳出決算額	差引額(形式収支)	翌年度繰越財源	翌年度繰越額(実質収支)
一般会計			1113億8184万円	1057億9089万円	55億9095万円	7億343万円	48億8753万円
特別会計	国民健康保険事業		222億920万円	217億2270万円	4億8650万円	0	4億8650万円
	後期高齢者医療事業		50億3873万円	49億585万円	1億3288万円	0	1億3288万円
	介護保険事業		206億6158万円	200億2431万円	6億3727万円	0	6億3727万円
	公共用地先行取得事業		2億4855万円	2億4855万円	0	0	0
	公営企業会計 公共下水道事業	収益	57億1151万円	51億3047万円	-	-	-
		資本	22億7790万円	40億2720万円	-	-	-
	病院事業	収益	146億2739万円	149億8512万円	-	-	-
		資本	11億7475万円	17億7624万円	-	-	-

決算の審査はどのようにおこなわれるの？

市が執行した予算が無駄なく効果的に使われているかを市議会がチェックし、決算書の内容について、議員からの質問と市の答弁を通じて審査をします。その審査結果を本会議で報告し、本会議最終日に議会が採決をします。

決算審査

委員10名で構成される決算審査小委員会で前年度の歳入歳出を審査

前年度に市が執行した決算について３日かけて決算審査小委員会で審査 → 全議員（議長・監査委員を除く）を委員とする決算特別委員会で最終審査・採決 → 本会議最終日に議会として決算に対する採決

決算審査の映像配信

決算事業評価

各分科会で事業を選定・評価

総務分科会・都市経済分科会・文化教育分科会・環境厚生分科会で評価対象事業を選定 → 各分科会の委員で議論・評価 → 翌年度予算へ生かされるよう議会として評価結果を市長へ提出

決算事業評価結果表

総務分科会

評価対象事業①　**改善**
職員の採用事務
評価理由（概要）
採用手法の成果を継続的に検証し、効果的な情報発信や採用手法への転換を図る取り組みの充実を

評価対象事業②　**拡充**
交通安全教育及び啓発等事業
評価理由（概要）
関心の低い世代への啓発を一層強化し、警察等との連携による交通安全意識のさらなる定着を

評価対象事業③　**拡充**
茅ヶ崎市斎場の施設再整備等事業
評価理由（概要）
将来の火葬需要を見据え、火葬炉の更新・増設を最優先に進め、誰もが安心して利用できる環境の整備を

都市経済分科会

評価対象事業①　**拡充**
狭あい道路整備事業
評価理由（概要）
安全・安心な通行空間や災害時の避難経路確保等に資する事業であり、自主後退促進への粘り強い取り組みを

評価対象事業②　**拡充**
道の駅整備・管理運営事業
評価理由（概要）
市は運営事業者と連携し、市内事業者への波及効果向上に向けた取り組みの充実を

評価対象事業③　**改善**
耐震改修促進計画の推進事務
評価理由（概要）
資金面等の事情で改修に踏み切れない所有者への働きかけ強化に向け、相談・広報体制の充実を

文化教育分科会

評価対象事業①　**改善**
ICT支援員派遣業務
評価理由（概要）
支援員が本来担うべき業務へ注力できるよう、範囲外の業務に関しマニュアル化を促進し自立的に解決する仕組みづくりを

評価対象事業②　**拡充**
クリエイターシティ・チガサキ形成戦略事業
評価理由（概要）
継続的な取り組みには一定の成果があった。今後も課題の検証・改善を重ねながら取り組むため予算・人員の拡充を

評価対象事業③　**改善**
学習支援・こどもの居場所づくり支援事業
評価理由（概要）
事業の必要性が高いが、団体自身の運営上の課題解決と自立的な運営につながるよう連携、周知の取り組みを

環境厚生分科会

評価対象事業①　**改善**
生活困窮者自立相談支援事業
評価理由（概要）
相談したい人にとって分かりやすい窓口周知や、制度周知の強化を図り、潜在的な相談ニーズの掘り起こしを

評価対象事業②　**改善**
後期高齢者保健事業
評価理由（概要）
介護予防分野との協働に加え、庁内の既存事業の機会を活用し、幅広い対象者への働きかけを

評価対象事業③　**改善**
戸別収集導入検討に関する事業
評価理由（概要）
課題を丁寧に整理した上で、多角的な検証や受益者負担など具体的な試算を重ね、市民の利便性・安全性に十分な考慮を

CHIGASAKI CITY COUNCIL PUBLICITY PAPERS NO.238 2026 AUTUMN

令和７年度決算　決算審査における主な質疑

自主防災組織育成事業費

1552万円

事業の概要

地域住民が主体となり、地域の防災力向上のために組織された「自主防災組織」の活動を支援するための費用を計上したもの



Q 防災リーダーを対象とした研修等で令和７年度工夫した点は。

A フォローアップ研修に取り組み、個々の事情に応じて基礎的な知識の啓発や、地域活動の理解を図る内容などさまざまなメニューを設定した。一例として、災害発生時に地域においてどのような事象が生じるかなどをイメージし、自主防災組織として必要となる対応や平素から準備しておくべきことについて考える研修メニューなども設定する等、工夫を行った。

スポーツ振興事業費

1275 万円

事業の概要

市民のスポーツ活動の推進や環境整備、スポーツアンバサダー協定に基づく事業など、市のスポーツ振興に要する費用を計上したもの



Q スポーツを「する」「みる」「ささえる」という本市の方向性について令和７年度の成果は。

A 本市ゆかりのアスリートの支援動画作成と、市民として応援していくスポーツアンバサダー事業等を行った。

Q 「誰もが参加できるスポーツ」について令和７年度の取り組みは。

A ※5インクルーシブスポーツについては、心と身体のスポーツアカデミーの１つとして、合計10種目で約1000人が参加するインクルーシブスポーツフェスティバルを開催した。

長寿命化事業費

2072 万円

事業の概要

公共下水道施設の長寿命化事業として※6ウォーター PPP 導入可能性調査に要した経費を計上したもの



Q ウォーター PPP 導入可能性調査業務委託について、令和７年度の調査においてリスク対応の具体化はどの程度進んだか。

A 課題の整理および本市におけるメリット、費用対効果を含めて検討を行った結果、本市で抱える更新需要の増加や技術継承の問題などが明らかとなった。ウォーター PPPがそれらに対する課題解決に有効な手段であると分かったため、令和10年度の運用開始に向けて、募集要項等を作成している段階である。

避難行動要支援者支援事業費

1663 万円(障がい者福祉費)

事業の概要

避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、避難行動要支援者名簿および個別避難計画の作成・提供に関する経費を計上したもの



Q 障がい者の個別避難計画について、作成の進捗状況は。

A 令和８年３月時点で、430人分の作成を終えている。

Q 作成を進めるにあたって課題は。

A 地域ごとに取り組み状況が異なる点や、支援者不足により協力者の調整が難しい点があるが、地域の実情に応じて取り組んでいただくよう周知している。また、既に作成を終えた方の情報の更新や変更が課題である。

地域生活支援事業費

2 億 7145 万円

事業の概要

障害者総合支援法に定める市町村が実施する事業等に関する経費を計上したもの



Q ※7医療的ケア児在宅レスパイト事業について令和７年度における状況は。

A 令和７年度の実績としては登録者が９名、実利用者が５名、利用時間が合計112時間であった。

Q 本事業の事業者を増やすために、どのような対応をしたか。

A 事業者を増やすため広く周知したが、令和７年度は４事業所のままであった。今後も引き続き、さらなる周知啓発を行っていく。

予防接種健康被害救済事業費

1940 万円

事業の概要

予防接種に起因する健康被害の救済に要する経費を計上したもの



(厚生労働省ホームページより抜粋)

Q 予防接種に伴う健康被害を防ぐための取り組みは。

A 市民に向けて副反応に関するお知らせや、安心して接種できるよう予防接種健康被害救済制度や予防接種後副反応疑い報告制度など、市ホームページで周知している。

Q 接種記録の保管期間は。

A ５年間保存している。

※５　インクルーシブスポーツ…障がいの有無、年齢、性別、運動能力などに関わらず、全ての人が分け隔てなく一緒に楽しむことができるスポーツ
※６　ウォーターPPP…下水道等の水分野において、従来別々に委託していた業務の一本化や長期契約により民間のノウハウ・創意工夫の有効な活用を期待できる官民連携手法の一つ（事業名称について令和8年度から「水の官民連携」に変更）
※７　医療的ケア児在宅レスパイト事業…在宅生活の医療的ケア児に対し、本市と委託契約をした訪問看護ステーション、放課後等デイサービス事業者の看護職員等が自宅に出向き、一定時間家族の代わりに医療的ケアを伴う見守りを行うことで、家族の休息時間の確保や、介護負担の軽減、きょうだい児と過ごす時間の創出等を目的とする事業